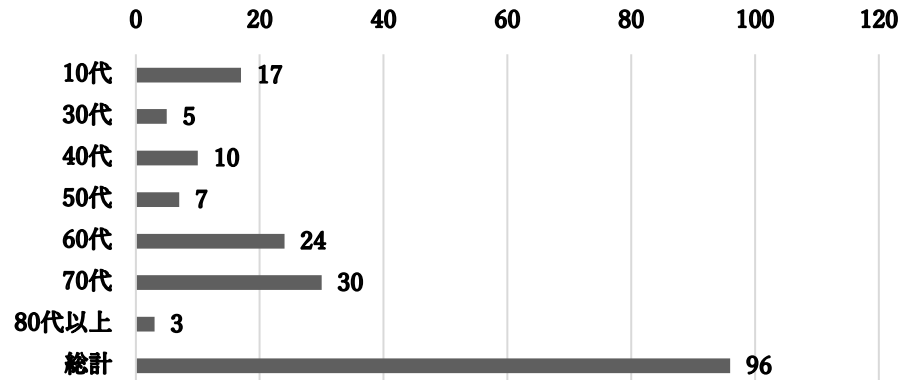


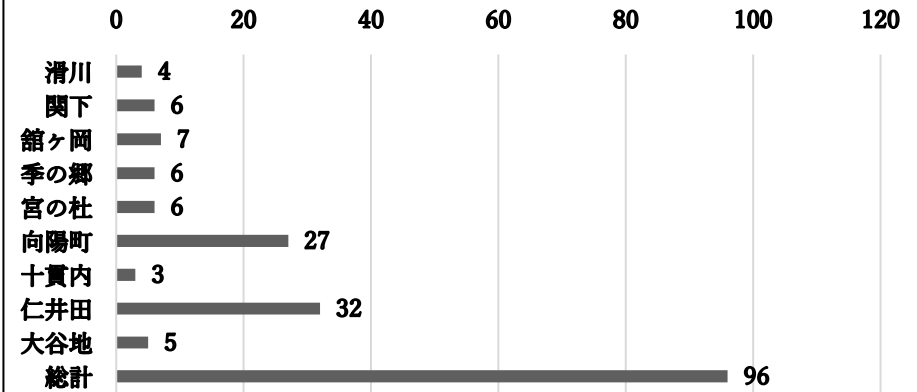
仁井田地区をより良くするためのアンケート集計結果

令和8年8月25日

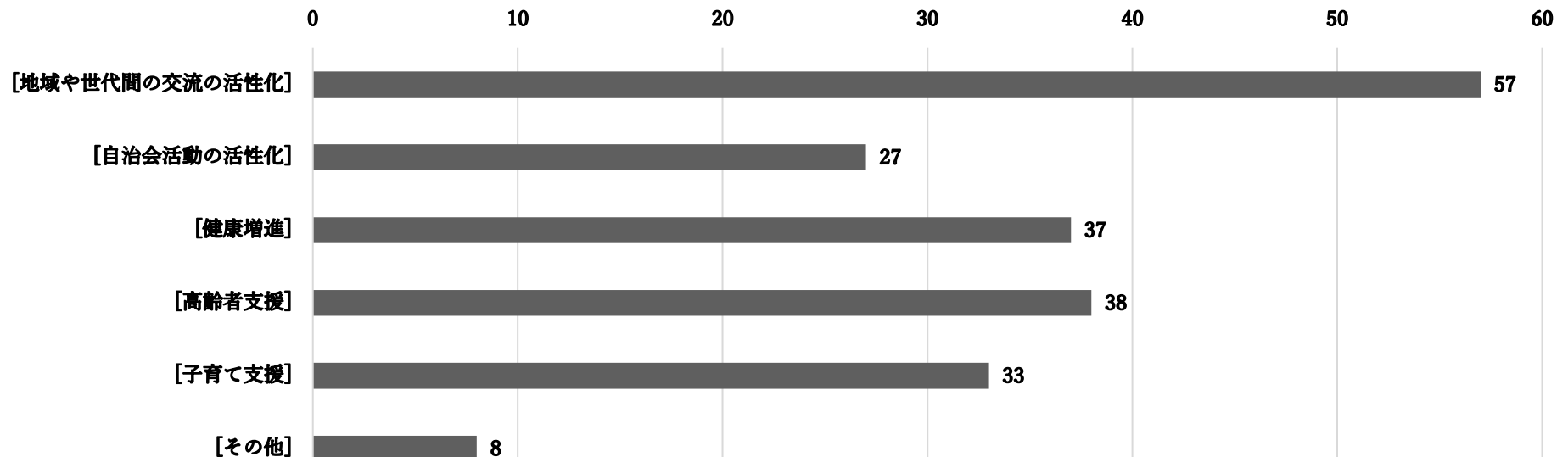
Q1. あなたの年代を教えてください。



Q2. あなたのお住いの地区を教えてください。



Q3. あなたが地域で元気に暮らすため、地域の課題解決に必要なと思うことは何ですか。(複数回答可)



Q4. Q3 で、その他を選んだ方にお聞きします。その他に必要なと思われるものをご記入ください。(自由記述)

マイクロバスで良いので、行政センターや郵便局、テッテや病院等への定期運行があると良いです。
現状の乗り合いタクシーだと、前日予約じゃないと利用出来ないし、帰りが丁度しないので困ります。

もっと大きめのイベント

一人暮らしの高齢者もしくは高齢者のみの世帯では買い物、通院など免許証返納後の交通手段が課題

高齢者が増え子どもたちが減り日常の活気が薄れている様にみられます。

高齢者の買い物等のため、コンビニがあればいい。一番近くても季の郷まで行かないと行けない。

子育て世代は、共働きも多くとても忙しいなか、地域活動に半強制で…役員などで協力せざるを得ないことがとても大変と坎じます。その面が解決していけばと希望します。

子供達が育たなければ、その地区に明るい未来は無いと感じる。

若い人が地域の活動に参加してほしい

少子化対策、役員のなり手不足、人材流出対策

草刈り作業の現状と負担。農政地区では市道・県道沿いの草刈りを地域住民が実施している。専業・兼業農家が減少し、作業で使う草刈り機の燃料代も含め、負担が大きい。
高齢化が進む中で、作業継続が難しくなっている。

地域とのつながり

農業を含めその他の事業により、経済的に、豊かに生活が営め、不安なく子育てできる状態を地元で持てるようにする対策を、公も工夫・努力して作りだすべき。

アンケートの項目はどれも、ありきたりで、行政側の工夫・努力の跡が見られない。

他人便りで、自分達はのんびんだらりと先人の後をただ引き継いで同じことを繰り返すばかりで怠けていたから、地域が痩せ細って来たのでしょう。

免許返納後の買い物等に不安を感じる。

バスは朝・夕の1-2 本であるため、病院通院時は不便である。

Q5. Q3・4 で回答したことを解決するため、地域ぐるみで取り組んでほしいことをご記入ください。(自由記述)

〇〇 祭とかを、公園とかでやる。

「子ども食堂」のような場所があってもよい。須賀川の中町周辺や西袋公民館にはあるが、仁井田にはない。特に夏休みのような長期休みの時など、子どもだけでも利用できて、勉強スペースなどもあるような場所があっても良いと思う。

コンビニ誘致

一人一人が意識すること

家に閉じこもりの無い様、自分自身気を付けて隣近所の交流ができると良いと思います。解決方法では違いますが、、

家の近くに定期的に交流できる場を作してほしい

外部委託や、奉仕の精神ある協力していただけるかたに絞るべきでは？と感じます。それで続かなければ、時代に合わないのでは…と感じます。

顔の見える環境作のための、視点を変えた交流

健康増進

向陽町に関しては、3 世代交流が無くなってしまい、近所の人たちとのコミュニケーションをとる場所がなくなってしまった、また夏祭りなど復活して欲しい

高齢者が増え、若い人が減ってきている為いろいろなイベントが変わってきている。

高齢者支援・子育て支援とは回答しましたが、実状は ひとり暮らしの高齢者の方は 余程のことがない限り 家の外に出てくることが少なく、子育て支援も ホントのご近所さんではない限り「乳幼児が居るか居ないか」が分からない

祭りや行事の参加や手伝いなど

参加体制の見直し案。年金のみで生活する健康な高齢者など、地域外の人でも草刈り作業に応募できる仕組み作りと、人員確保。地域住民でも「草刈りしたくない人」「体力的にできない人」は参加を拒否できるようにする。参加しない住民には、現状報酬で約 9,000 円の半分程度の金額を「参加拒否費」として徴収する案も検討余地あり。

子どもたちはゲームやスマホを扱う時間が多くなり、人とのコミュニケーションが苦手と聞いている。かつては祭りなどの育成会イベントで、広い世代と話をする時間があつた。どうか、地域の人たちとのつながりの場を設けて欲しい。人とのつながりが健康、子育てに結ばれるはず。

子ども育成会への支援(補助金だけでなく交流の場の創出) 公園、遊び場の充実

子育て世代への支援

子供を巻き込んで、活動すれば、親はついて行くし、そのいち部に上世帯が参加することができれば、じじ、ばばも行きやすい。家に閉じこもることが少なくなりそう。

子供向けイベントなどの充実

自治会の運営組織編成が難しくなっているのでは、編成のあり方を考慮する必要があるのでは...(全体的な視野で、活動内容の精選...)

子供、若者達に向けて、「命には限りがある。でも、子孫を遺せば、貴方の命は永遠に紡がれて行く。貴方の前にも、幾千もの命が紡がれてきた。先人達の思いを体現しているのが、今の貴方。その思いに、貴方自身の思いや希望を乗せて、この先幾千年も続く命を繋いで行きましょう。」と、広く伝えて欲しい。高齢世代にも同じことを伝えて、若者と共に、命を繋ぐ事への理解と協力を促して欲しい。単に金品を配るとか、そういうことでは無しに。羽ばたけ若者達。

そして、また仁井田／須賀川に帰っておいで。緑豊かなここ仁井田で、次へ繋がる命を育てましょう。燕プロジェクト 隣の家の軒下に巣を造った燕の子が、代々同じ巣に帰ってきて、次の命を育んでいる。何代も、何代も。この燕たちのように、仁井田／須賀川がこの先も何代も、仁井田／須賀川由来の命を繋いで行けるよう、行政は後押しして欲しい。地方である仁井田／須賀川の強みの一つは、第一に農業でしょう。命の糧でもある食料を産み出す農業の尊さを再認識し、行政はこれを後押しして欲しい。農家が豊かに暮らして行けるように。国が農業をはじめ第一次産業を軽視、否、潰そうとしていることも、薄々わかっています。しかし、地元の行政はそれに抗って、命の糧を産み出す産業、農業を守って欲しい。むしろ、より発展させて欲しい。我が国の食料自給率の低さを鑑みても、大切なことだ。中央に流されず、事の本質を見極めて、本当に大切な事は何かを、各自がよくよく考えて、実質的に、生産的な 対策を打ち出して実行して欲しい。もっと、戦って欲しい。

自治会活動が活性化すれば、より良い地域につながると思います。各組織への役員のなり手不足が最大の課題だと思います。区民の協力を得ながら役員の負担を軽減する。その結果、役員に就くことのハードルが下がると思います。

役員の仕事が大変ではないことを認識してもらうことで、ミドルエイジ(40?60)にもっと関心を持ってもらえるのではないかな。

住民の交流、お互いに助け合いの気持ちを持つことが大切

春、秋の学校の休み時、大人との運動会等を開催し地域を盛り上げてはどうか。

小さい子が楽しめるような、お祭り系がいいと思います

仁井田は色々な地域の行事を実行委員会形式で取り組んでいます。私はこれが仁井田の強みだと考えます。ただ、その実行委員が一部の方に偏っているような…もう少し若い世代を巻き込んでいけたら良いと思います。

仁井田地区は、大字の農村部と向陽町、季の郷、宮の杜の分譲住宅エリアに分かれており、従来の地区対抗の球技大会や地区大会は限界がある。新たなフェスティバルを創設して欲しい。

組織(各団体)で意見、要望があった場合、結論は別として検討結果(中間でも)報告が大切かと思う。次の展開の参考となるのではないのでしょうか。

地域ごとに文化祭のような催しはあると思うのですが、参加者も高齢化が進んでいるような気がします。

作品出品などにおいては児童の作品展示がありますが、会場に足を運んでも会場にいる児童の数が少ないように感じます。

現時点でも連携はされているかと思いますが、学校や地域の育成会などの橋渡しを密にして、より若い力で地域を盛り上げることは難しいのでしょうか。

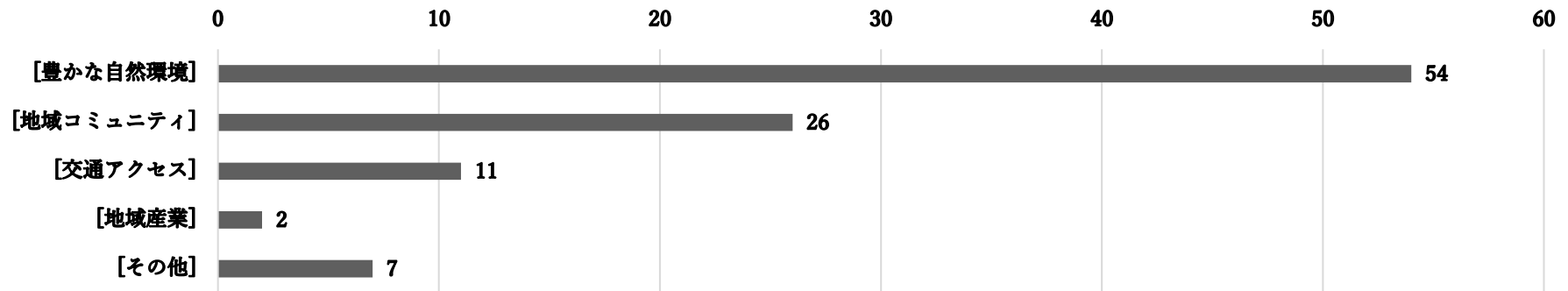
地域参加のイベントを増やす。流行のものを取り入れる。

町内会で希望者を募り、買い物に行けない時はお店(いちい等)に移動販売をお願いしたい。

婦人消防で缶整理を朝早くに行っているようですが、それぞれの人がそれぞれのボックスに入れて仕分けすればいいと思います。わざわざ朝早く集まってやる必要はないのではないのでしょうか？昔の流れを変えてもいいのではないかと思います。

役員の複数年担当

Q6. あなたが住んでいる地域の強みは何ですか。（複数回答可）



Q7. Q6 で、その他を選んだ方にお聞きします。その他の強みをご記入ください。（自由記述）

いろいろな団体が活躍している。

悪く言えば何もない

医院、スーパー、ATM がある事。

夏まつりや、みんなが楽しめることをしているから

各自のサークル活動が盛んである事

舘ヶ岡地区には、神成横穴古墳群や舘ヶ岡磨崖仏の市指定史跡がある。

更には、地域の宝として「舘山館、雨乞いの碑、鶴賀池、四十壇のサクラ、虚空蔵尊跡」があり、他地区にも多くの宝があると思う。

区画整理された地域のため、住宅が整然と並んでいること。

無計画に道路や宅地が増える地区と違い住んでいて安心感があります。

自然が豊かだから

自然に囲まれていること

人当たりのよさ

農業が身近にある

農政地区としての新しい取組み案。管理栄養士の提案を取り込み、健康に良い食材の生産を進める。

老舗和菓子店があり、遠方からも購入しに来てくれている人がいること。

Q8. 地域の強みを生かした地域活性化のアイデアがあればご記入ください。(自由記述)

「和菓子作り講座」をもっと回数を増やして、子ども向けにも行って欲しい。

農産物が盛んな地域でもあるため、「仁井田の朝市」のような地域で採れた新鮮な物を買ったりできる催し物が月1回あったらいい。地産地消につながる。

よく耳にしそうな内容ですが、インバウンドや地域外から人を集められないでしょうか。

職能体験などで、地域内・地域外の小学生が合同参加のイベントを開催する等。

夏祭り、ちびっこ花火、協賛金を地域で集めてやりたいです。

現在は町内にて「敬老会」や「秋祭り」や「子ども夏祭り」など実施し町内全員参加を目標にしている。

今まで行ってきた地域の取り組みや活動等を形を変えながらも継続して実施していく。

散歩(ウォキング)道等の健康増進に繋がる施策を整備する

色んな実行委員会にもう少し幅広い年代からのメンバーを増やしたい！ そのためには口コミしかないのかなあ？

新鮮な農産物を歩いていける距離で販売するイベント

大きなイベントを開き、他地域の人に魅力を伝える

地域の強み？

提案の食材が安定生産できるようになれば、料理レシピなどを TV や SNS(インフルエンサー)で PR する。生産者の所得が増えれば住民税収入の増加・ふるさと納税の

返礼品としての活用といった地域財源の可能性。

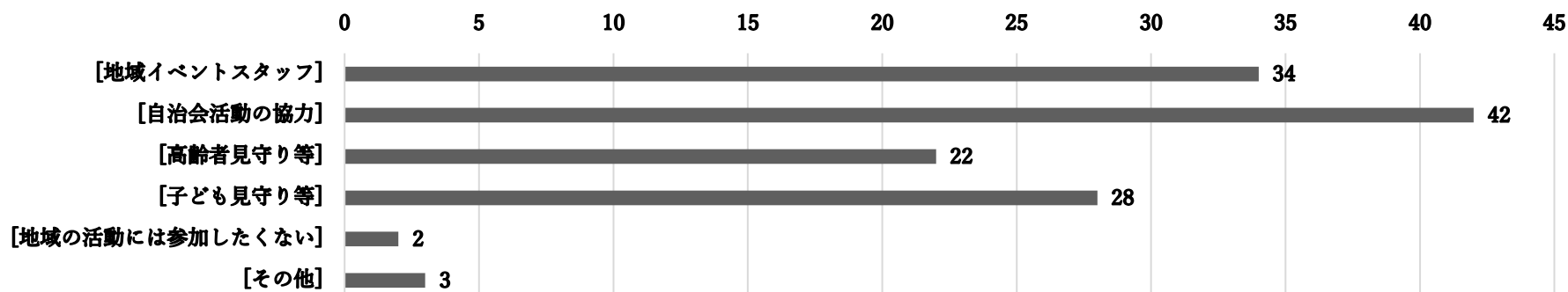
得意種目について、年齢差なしで実践する事業

農業 根本博中将 ウルトラマン(須賀川市) お祭りでは「ウルトラマン音頭」など取り入れて活性化できないか？

おかげ犬(?) (須賀川市)江戸時代、主人の代わりに伊勢参りを果たした犬 須賀川市内(中町近く)のお寺に石像(お墓?)がある。須賀川の PR に。

農村部の耕作放棄地(畑)を活用し、家庭菜園に興味のある向陽町等の住宅エリアの方々と一緒に栽培(じゃがいも、さつまいも等)し、収穫祭を開催し、地域や世代間交流を図る。

Q9. あなたが地域のために参加できる取り組みはありますか。(複数回答可)



Q10. その他、地域に関する意見や要望があればご記入ください。(自由記述)

仁井田地域は滑川、十貫内、宮の杜も含まれている。体育祭など、今まで協力的にやって素晴らしい歴史であったが、よりコミュニティを強くするのなら、取りまとめ地域を見直すことも1つではないかと思う。

仁井田地域と仁井田区は同じ言い方のため、認識がややこしい。須賀川北部のような総称の仕方も、今さらだが考えてはどうか。ニュータウンの人など、仁井田地域の人という認識は薄い。

もっと活発にイベントをする。花火とか

以前キラキラ学級(赤ちゃんと保護者の学級)というのがありました。その時の応援メンバーは50代の働き盛り?なかなか参加できなかった。今なら、応援できるかも。そんな取り組みはいかがでしょうか? 健康づくりの会の子育て部会の活動になっちゃうかな?

移動手段として車を利用しているが、高齢化に伴い免許を返納した後の移動が不安。

共働きの家庭が多い中、役員の負担などが大きく感じる。ラバーバレー大会(以前は中学校の部活の親から選出と聞いておりました)の役員を保護者から半強制で選出もあると聞か、このような流れは、今の令和の時代の流れに合わないように強く感じます。

郡山市などでは、親の負担を軽くする試みが多いと感じます。快く自ら協力していただける、奉仕の精神のある方がいただければよいのでは…。

半強制ですと、子育て世代は心身共に大変と思います。子育てに対し、協力可能な親戚が近くに在住でないことも絡みますと、尚更だと感じます。

現在、広報配布は月2回ありますが月1回にする。全戸配布ではなく必要な人には紙媒体で配布し、それ以外はデジタル化する。

交通アクセス→須賀川方面へのバスが必要ではないでしょうか。

公共交通がもっと豊かであれば嬉しい。が、現状で難しいこともわかります。

行政も含め、しがらみを捨て、価値のある取り組みに挑戦する姿勢が見たい。「エラー＆トライ」(試行錯誤)で改善を重ね、地域の未来をつくるべき。高齢になりなかなか思う様に活動ができなくなりました。地域の様子を良くみて欲しい、大変難しいが子育てをしている方たちに耳を傾けてほしい。なにか発信してるはずですよ。それを大切にしてほしい。そこからヒントがあるはずですよ。

参加したいですが、仕事や子どもの習い事等で参加が難しいです。もしかすると今後私のような方が増えてくると思います。

若者が参加しやすい、曜日や時間帯を設定して、イベントや子どもと、ふれあえる様だといいと思います。

小学生の下校の防犯見守り隊を作って欲しい。仁井田児童クラブ館が使用しなくなりましたが、地域交流の場所などとして利用してはどうか。

職員の皆さん大暑を乗り越えて、市民の向上を目指してガンバって下さい。健康第一ですから無理をしないで！

色々お手伝いしたいのはやまやまですが、足を引っ張るのではという気持ち、先に立ってしまうのが現実です。

須賀川市民であるのに市役所方面や市内の買い物・病院利用時の交通アクセスが無いのは困る。今後高齢者が増え不便を感じ対策が早急に必要だと思います。(仁井田コミュニティ・行政センター、郵便局等へもタクシー利用するしかないです。)

年を取ってくると車の運転が出来なくなると市内バスを通してほしい

例えば庭木の手入れがされていない住宅は、目の前の歩道も草がぼうぼうに生えていることが多いです。

年二回の清掃活動もその組によっては集まってゴミ袋配布して解散みたい、取り組みの差が大きい。

最低限、ここまでは清掃活動で取り組みましょうのようなガイドラインを示したら良いのではないのでしょうか？

仁井田地区は私も含め、たいへん保守的な地域だと思っています。日常における地域の活動は、前からやっていること、慣例ということです。各機関(団体)役員の皆さんも多くはやむなくやっていることでしょう。区の例をあげますと、この数年、いくつかの意見を申し上げました。しかしほぼ無視なのです。(議事録の開示もなし)これらの状況から結局は何を言っても”ムダ”ということになります。先輩たちから聞いても同じ話であります。それでも今回、せつかくの機会ですから少し記してみたいと思う。

前年同様・・・という固定観念が大変強いこと ・地域での各種事業が多いのでは？ ・さらに新規事業・行事は難しいと思う

募金について(赤い羽根・社会福祉協議会等)一区費(会費)として割当の募金を一括徴収(H19 年度～)しています。(会費として徴収することは『思想信条の自由を侵害し、公序良俗に反する』と 2008 年 4 月最高裁で確定している。)・・・個別募金にすべきこと・・・

お昼のサイレンについて 言うまでもなく時代は大きく変化しています。時計やラジオもあまりなかった時代はサイレンも必要だったでしょう。今や異常とも思うほどの爆音は住環境としては有害である。速やかにやめるべきでしょう。(騒音調査も必要です) (参考)R6.1.5 付仁井田区長名で案内した「区民アンケートの実施について」の説明文の抜粋一仁井田区民の皆様が快適で、より住みやすい環境を目指し、計画的に改善を行っていきたいと考えております。一

今回のアンケートについて”戸別配布”すべき・・・と思いましたがどうでしょうか。